

第 1 章

減価償却ソフトを使ってみよう

1. 減価償却ソフトの利用メリット

(1) 手作業での減価償却

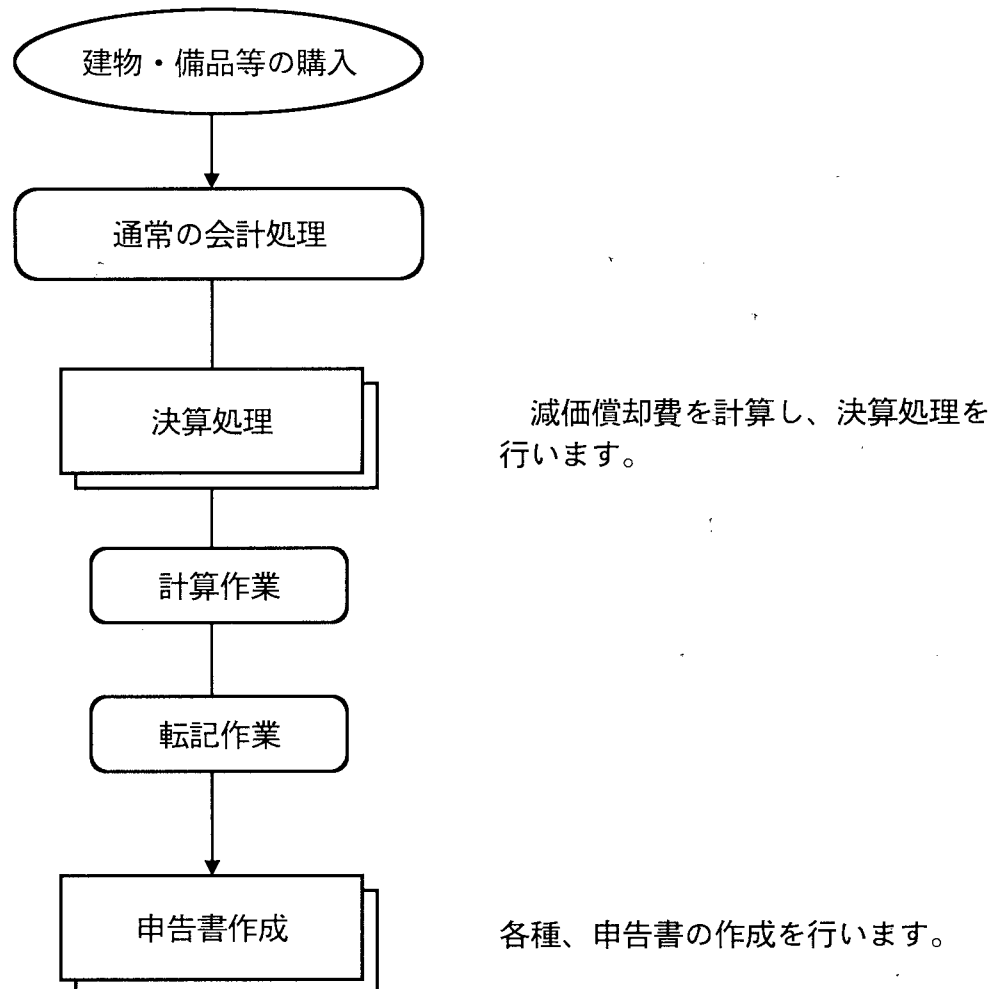


図1-1 手作業での減価償却の流れ

自動車や機械など固定資産は、使用している間に摩耗または破損して価値が下がったり、失われたりします。しかし固定資産の場合は、製品や商品のように実際の棚卸して摩耗の状況を検査して、その金額を算出するのはほとんど不可能です。

そこで代わりに、決められた計算式によって減少した価値の金額を算出して、これを年々費用化します。これが減価償却で、計算された金額が減価償却費になります。

自動車、機械、土地、建物など固定資産の数が多くなってくると間違っして記入をしたり、計算まちがいが発生する可能性が高くなります。

(2) コンピュータでの減価償却

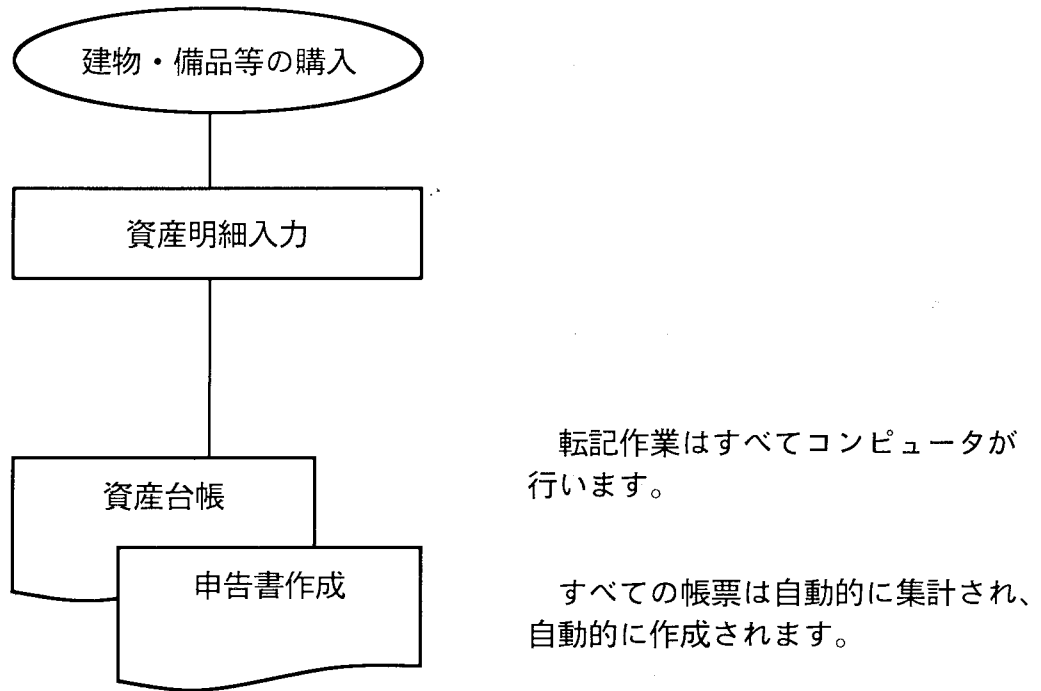


図1-2 コンピュータでの減価償却

その点コンピュータは、単純で繰り返しの多い計算をすばやく正確に行うのが得意ですから、この仕事に向いているわけです。

しかしコンピュータは、減価償却の仕事に限らず仕事を処理するための道具であり、操作するのは、人間ですから、減価償却についての知識はもちろんのことコンピュータやソフトについて基本的な操作方法を知っていることが必要になります。

この学習では、パソコンによる減価償却について学ぶことにします。

2. 減価償却ソフトのシステム概要

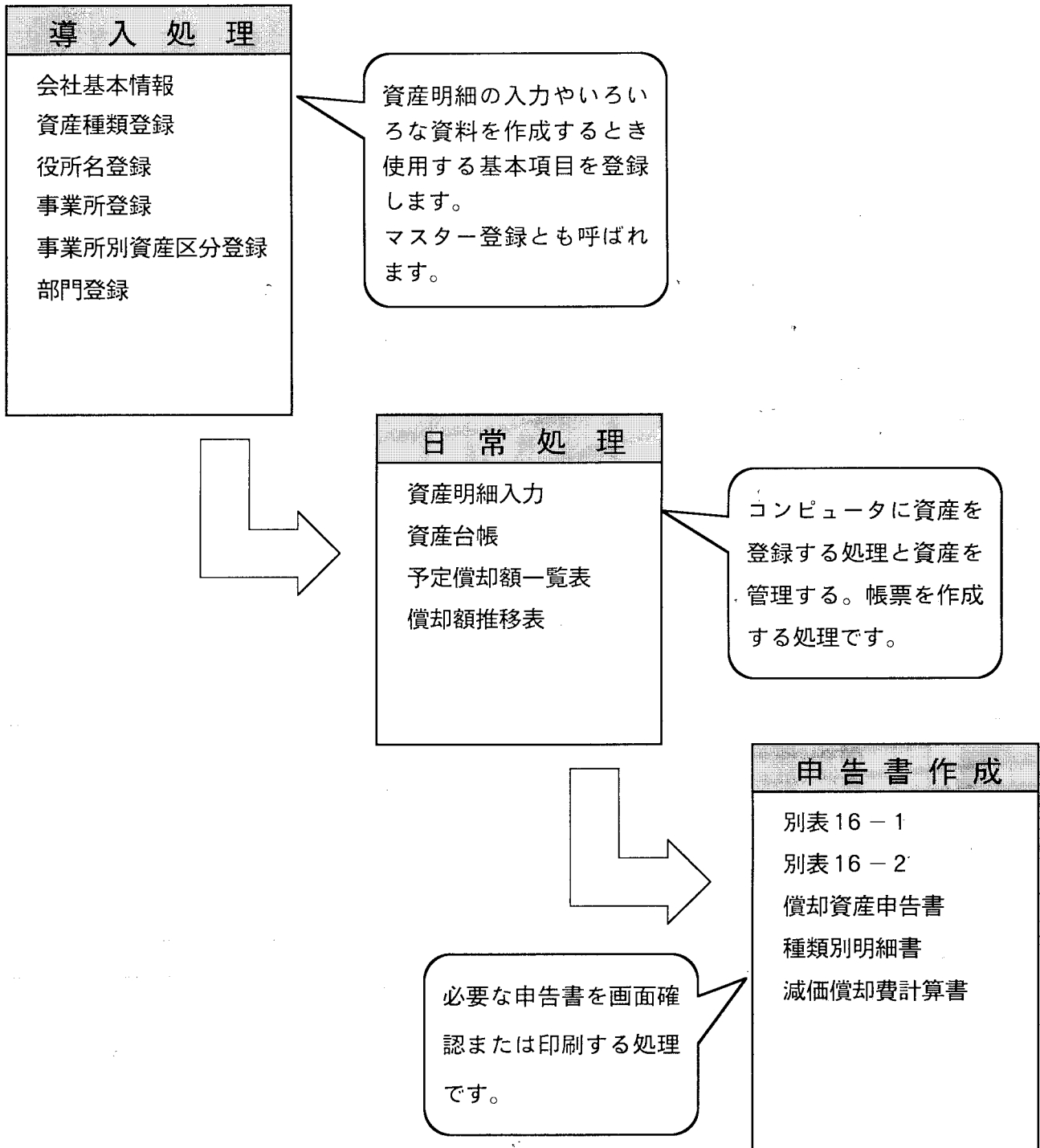


図1-3 減価償却ソフトの構成

減価償却ソフトは導入処理、日常処理、申告書作成により構成されています。

参 考

<減価償却ソフトのメニュー構成例>

機 能

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 会社選択 | (5) 会社データ読込 |
| (2) 会社データ初期化 | (6) データ領域変更 |
| (3) 会社データ削除 | (7) パスワード登録 |
| (4) 新規データ作成 | (0) 終了 |

導入処理

- | | |
|------------|----------------|
| (1) 会社基本情報 | (4) 事業所登録 |
| (2) 資産種類登録 | (5) 事業所別資産区分登録 |
| (3) 役所名登録 | (6) 部門登録 |

日常処理

- | | |
|--------------|--------------|
| (1) 資産明細入力 | (4) 予定償却額一覧表 |
| (2) 資産明細一括更新 | (5) 償却額推移表 |
| (3) 資産台帳 | (6) 過去データ入力 |

申告書

- | | |
|-------------|--------------|
| (1) 別表16-1 | (4) 種類別明細書 |
| (2) 別表16-2 | (5) 減価償却費計算書 |
| (3) 償却資産申告書 | |

随時処理

- | | |
|--------------|--------------|
| (1) データコピー処理 | (4) 汎用データ受入れ |
| (2) 翌年度更新処理 | (5) 耐用年数辞書変更 |
| (3) 仕訳伝票作成 | |